



さあ、答え合わせをしよう！

第48週目 行ってみよう～千葉県(ちばけん)からの出題

※ココを見てね!▶行ってみよう～千葉県(ちばけん)

1. 千葉県では、縄文時代につくられたあるものが、全国一の数みつかっています。さて、それは何かな？

正解:③貝塚(かいづか)

いまの千葉県(ちばけん)にあたる地域(ちいき)は、周囲(しゅうい)を海に囲(かこ)まれた地形(ちけい)であるため、大昔から海・川の交通(こうつう)によって、さまざまな地域(ちいき)の文化がもたらされてきました。縄文時代(じょうもんじだい)も同じで、そこに人々が暮(く)らし、貝塚(かいづか)が数多く作られたんですね。正解は③です。ちなみに、日本には約2,300ヶ所以上の貝塚(かいづか)が発見(はっけん)されており、そのうち約500ヶ所が千葉県(ちばけん)にあるんだよ。

2. 加曽利貝塚(かそりかいづか)は、何時代の遺跡(いせき)ですか？

正解:②縄文時代(じょうもんじだい)

千葉県(ちばけん)のMAPで「加曽利貝塚(かそりかいづか)」をクリックすれば、遺跡(いせき)が紹介(しょうかい)されていますね。正解は、②縄文時代(じょうもんじだい)です。直径約140mのドーナツ状の北貝塚(きたかいづか)と約190mの馬のひづめの形をした南貝塚(みなみかいづか)がつながってできた加曽利貝塚(かそりかいづか)は、8の字形をした日本では最大級(さいだいきゅう)の大きさです。

3. 王様の文様とされる「直弧文(ちよっこもん)の石枕(いしまくら)」は、どこの遺跡(いせき)から出土したの？

正解:②二子塚古墳(ふたごづかこふん)

正解は「お宝ベスト5」4つ目、②二子塚古墳(ふたごづかこふん)です。古墳時代(こふんじだい)の遺跡(いせき)からは、さまざまな文様(もんよう)がほどこされたモノが見つかっています。「直弧文(ちよっこもん)」は、直線(ちよくせん)と帯状(おびじょう)の弧線(こせん)を複雑(ふくざつ)に組み合わせた文様(もんよう)で、弥生時代(やよいじだい)には岡山県(おかやまけん)の特殊器台(とくしゅきだい)にもみられることから、その地域(ちいき)の王様クラスの人だけがこの文様(もんよう)を許されたのではないかと考えられています。

4. 有吉南貝塚(ありよしみなみかいづか)から出土した腰飾(こしかざ)りは、何の骨(ほね)でできていますか？

正解:③クジラ

「お宝ベスト5」1つ目で紹介(しょうかい)しています。正解は、③クジラ。有吉南貝塚(ありよしみなみかいづか)には、旧石器(きゅうせっきじだい)～平安時代(へいあんじだい)、さらには中世(ちゅうせい)と、長い時代にわたって人が住んでいたことがわかりました。なかでも貝塚(かいづか)が作られた縄文時代(じょうもんじだい)のものは、たて穴建物(たてあなたけ)や貯蔵穴(ちよぞうけつ)、土杭墓(どこうぼ)、溝(みぞ)にいたるまで、生活に関係した跡(あと)がたくさん見つかっています。日枝神社境内(ひえじんじゃけいだい)と遺跡公園(いせきこうえん)のほとんどの部分は、そのままの状態(じょうたい)で残(のこ)されていることから、このまわりで見られる白い貝殻(かいがら)は、縄文人(じょうもんじん)によって海からこの地に運(はこ)び込まれてきたものなんだから。びっくり!だね。

5. 川焼台遺跡(かわやきだいいせき)から出土(しゅつど)した小さな銅鐸(どうたく)は、いくつですか？

正解:②2つ

「お宝ベスト5」3つ目をみてください。正解は②2つ。マツリや儀式(ぎしき)で使われたと考えられている青銅製(せいどうせい)の銅鐸(どうたく)ですが、このように小さなものは、東海地方(とうかいちほう)より西で見られます。それが、いまの千葉県(ちばけん)まで伝わったんですね。一体、どんなふうに使われたのかな???